

# 第20回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成20年2月

応募者名:大阪市 建設局 道路部

事業の名称:大阪都市計画都市高速鉄道  
JR阪和線連続立体交差事業

実施都市名:大阪市

## 事業の目的

本事業は、鉄道を高架化することにより、踏切を除却し、踏切において発生していた深刻な交通渋滞や踏切事故を解消し、交通環境の改善や高架下の有効利用などを含めた地域の活性化を図る事業である。

## 事業概要

事業名：大阪都市計画都市高速鉄道

JR阪和線連続立体交差事業

路線名：JR阪和線

事業箇所：阿倍野区文の里四丁目～住吉区杉本三丁目

事業延長：4,860m

総事業費：約800億円

事業期間：昭和58年～平成19年

(平成18年5月21日 全線高架切替済)

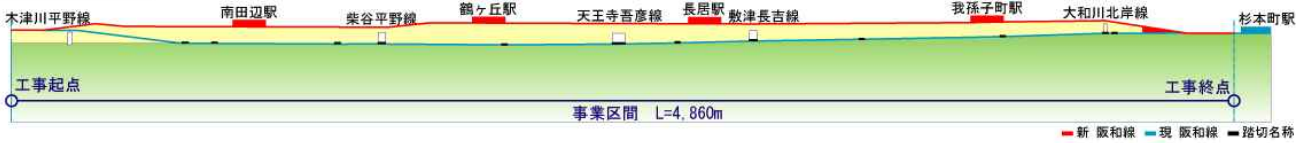
本事業は、阿倍野区文の里4丁目付近から住吉区杉本3丁目付近の間で5路線の幹線道路と交差する約4.9kmの区間を高架化し、12箇所の踏切(うち11箇所の開かずの踏切)を除却するものである。

# 事業位置図

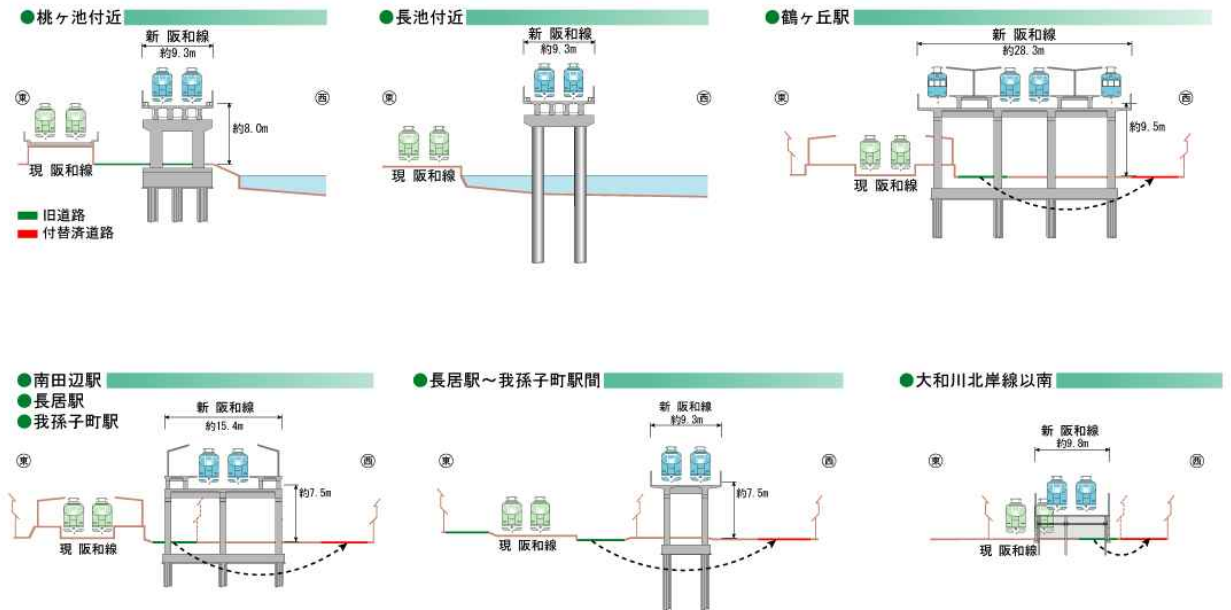


## 全体図(平面図・側面図・横断面図)

### 縦断面図



### 横断面図



# JR阪和線連続立体交差事業の整備効果アピール資料

## 12箇所の踏切除却

(工事中に廃止した1箇所以外はすべて「開かずの踏切」)



### ○事業概要

事業名: 大阪都市計画都市高速鉄道  
JR阪和線連続立体交差事業  
事業箇所: 大阪市阿倍野区文の里四丁目  
~ 大阪市住吉区杉本三丁目  
踏切除却数: 12箇所  
事業延長: 4,860m  
総事業費: 約800億円  
事業期間: 昭和58年度~平成19年度  
(平成18年5月21日 全線高架切替済)

### ○交通量調査結果

供用前 平成11年 7月  
供用後 平成18年10月

#### 【自動車交通量】

- ①大阪港八尾線: 14,666→16,966台/12h
- ②大阪高石線: 18,654→20,270台/12h
- ③国道479号: 15,391→18,741台/12h
- ④大和川北岸線: 2,194→7,226台/12h

### ◎幹線道路の機能回復

(踏切除却による)

## 「踏切除却による整備効果」

### ○踏切交通遮断量の減少

大阪市域全踏切⇒約380万台・時/日

JR阪和線⇒約100万台・時/日

**約1/4減少 全国ワースト10の3踏切を除却**

### ○旅行速度の向上

国道479号(③) 12.5Km/h ⇒ **23.9Km/h**

### ○道路機能の回復

幹線道路(①②③④) 509百台/12h ⇒ **632百台/12h(増加)**

生活道路(上記以外) 213百台/12h ⇒ **142百台/12h(減少)**

**◎幹線道路踏切の渋滞を避けていた迂回交通が回復**

### ○環境の改善(推計値)

全国ワースト10の3踏切を除却することによるCO2削減量

⇒ 年間約2,600t 甲子園球場の約60個分の森林面積に相当する。

### ③ 国道479号



事業前



事業後

全国ワースト10の3踏切  
幹線道路①②③



# 事業前写真





# 事業後写真

平成20年1月撮影



平成19年12月撮影

平成20年1月撮影

